

那覇西ロータリークラブ

国際ロータリー 2580 地区

創立 1962 年 6 月 4 日

2018 年 1 月 31 日

週報 第 2507 号

プログラム案内



ロータリー:
変化をもたらす

本日のプログラム

1 月 31 日 (水)

- ・点鐘・ロータリーソング
- ・日も風も星も
- ・会長報告・幹事報告
- ・立食

次回予定

2018 年 2 月 7 日

- ・宮城麻理子様
(元 RBC アナウンサー)

四つのテスト

- 1、 真実かどうか
- 2、 みんなに公平か
- 3、 好意と友情を
深めるか
- 4、 みんなの為に
なるかどうか

例会報告

第 2624 回 (2018 年 1 月 24 日)

出席報告

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回 訂正出席率
62 名	35 名	26 名	57%	62%

欠席会員

名城、崎原、知念、喜納、安里 (清)、仲本、具志堅
上原、大城 (博)、儀部、宮内、大嶺、福重、比嘉 (広)
久保、立津、城間 (久)、三浦、照屋 (紀)、白土
近藤、小幡、小林、平尾、東、宮城会員

M a k u U p

安里清榮 (1 / 11 那覇東) 比嘉広明 (1 / 23 那覇)
石川正一 (1 / 18 那覇北)

ゲスト

河崎充良 (ゲストスピーカー)

会長報告 (大城純一副会長)



会 長 大嶺 香

副会長: 具志堅一真・大城純市

幹 事: 比嘉広明

例会日 毎週

水曜日 12 時 30 分

例会場 ANA クラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー

事務局 那覇市松山 1-1-14 那覇共同ビル 6 階

TEL: 861-7824 FAX: 861-7825



本日は、JICA 沖縄国際センターの川崎光良所長に来て頂いています。JICA には沖縄弁護士会所属の弁護士がカンボジアに法制度の支援に行っていた時に支援をして頂いた。国際交流の中で JICA の果たす役割は非常に大きい。沖縄にも JICA の事務所があることはあまり知られていない。これからは、国際交流の時代なので川崎さんには国際化の宣伝をして頂きたい。我々ロータリーも国際組織なので国際交流を進める中で JICA の力もお借りしながらロータリーともども発展していきたいと思う。

幹事報告

第 29 回インターアクト沖縄分区大会・3 年生を送る会
ご案内

下記の日程で「第 29 回インターアクト沖縄分区大会」を開催いたします。また、分区大会終了後、同会場にて「祝賀懇親会・3 年生を送る会」を引き続き開催いたしますので、合わせてご列席賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

記

日 時:平成 30 年 2 月 9 日 (金) 午後 5 時受付

午後 5 時 15 分～午後 6 時 30 分 (分区大会)

午後 6 時 40 分～午後 8 時 (3 年生を送る会)

場所: 沖縄青年会館

(那覇市久米 2-15-23)

TEL: 098-894-1780

- ・会費納入願い

下期会費の納入を 2 月 20 日までに振込み下さい
ますよう宜しくお願い申し上げます。

下期会費 110,000 円

ニコニコ BOX ¥ 2,000

累計 ¥256,500

儀間聖輝 お天気がよろしいので

日本人親善朝食会についてのお願い

日 時 2018年6月24日(日)

開 場 6:30※朝食会 7:00~8:30

※会長の挨拶を予定しております※

※変更が生じる可能性があります。最終的な時刻は、2018年5月以降に通知する最終案内にて、確定とさせていただきます。

場 所 Hyatt Regency Toronto
(ハイアット・リージェンシー・トロント)

会 費 一人 10,000円 (着席)~しばらくぶりの和食をどうぞ~

(ポリオと米山奨学会へのドネーションを含みます)

定 員 先着500名

締切日 2018年2月28日(水)

※キャンセル、返金につきましては4月20日(金)まで受け付けます。なお、それ以降の返金はいたしかねますので、ご了承ください。

1 月度お誕生祝い

大庭 憲(1月3日) 城間 巖(1月4日)

儀間聖輝(1月15日) 慶佐次 操(1月15日)

崎原信一(1月18日) 城間 久美子(1月25日)

12 月度皆勤バッジ 大庭 憲(7年)

新会員入会



左から (中村 敦会員、大城純一会員)

・新会員

中村 敦会員

生年月日: 1965年1月22日

職業分類: 司法書士

会社名: 中村 敦司法書士事務所

住 所: 浦添市安波茶2-13

プレスセンタービル二階

役 職: 所長

趣 味: ゴルフ



卓話 (JICA 沖縄国際センター川崎光良所長)

今日の卓話のタイトルは「今時の JICA」です。浦添市に出来て 34 年目、JICA のことをご存じでない方も多いため、JICA のことを知って頂き使ってもらえば幸いです。1985 年に JICA に入って 34 年、沖縄県の 13 代目所長になります。

この業界の醍醐味は「視野が広がった」多様な人生の方々との出会いの中で「人生観が変わった」です。発展途上国は、経済では貧しいが人間味は豊で家庭地域の絆が非常に強い。我々が失ったものが、まだまだ途上国には残っている。治安が良くない所でも仕事をして国造りの難しさを感じてきた。憲法がない、それをどうやって作るかそうゆうお手伝いもやってきた。鍵を握るのは志ある政治家、それを支える官僚、彼らの動向を見守る民の存在が極めて重要になる。

地球上で理想的な国はとなると、土台となる家庭、コミュニティがしっかりしている沖縄だと感じている。

JICA の役割は、国の法律で決められており、発展途上国と沖縄を繋ぐ役割も担っている。

環境エネルギー産業の分野で県内企業のアジア太平洋への展開を支援するグローバルな人材育成もしている。ジェトロとも協力して沖縄県企業の海外展開を支援していく。

沖縄県の比較優位 4 つの柱

1. 地理的特性 (アジアと日本の架け橋)
2. 自然環境特性 (亜熱帯、台風災害)
3. ソフトパワー (文化的な特性、健康長寿、安心安全)
4. 社会的特性 (平和希求の心)

JICA 今後の取組み

1. 提案型事業を身近に感じて頂くための営業活動
2. JICA 人材 (研修員、協力隊) の活用・推奨
3. 沖縄の平和希求の心を世界に向けて発信

年間 500 人の研修を通じて沖縄のいちゃりばちょーで一を感じた人々が全世界で 1.2 万人。この方々とのパイプも大事に沖縄企業の海外展開を支援していく。沖縄の持っているハート世界に向けて広げていきたい。